

Vol.97

2013年 5月号

やらばあ

ふみだそう、福祉でまちづくり

茅野市運動公園は

ニホンリスの遊び場

～この環境をいつまでも～



～橘田さんが伝えたいこと～

茅野市運動公園に生息するニホンリスは、各地で地域的な絶滅が進む中、茅野市の街中の公園で生息していること自体が特異であると言えます。

ニホンリスの生態を観察できる場所は、日本では茅野市運動公園だけのようです。

この素晴らしい茅野市運動公園の環境を市民の力でいつまでも保全したいものです。



撮影者 橘田利幸 さん 撮影場所 茅野市運動公園



三月、図書館で橘田利幸さんの「茅野市運動公園のニホンリス展」を鑑賞。橘田さんは二〇〇八年から二〇一二年まで、五年間毎年二百日を超える日数で撮り続けられた。レンズを通して観察する中、左目の後に白いスジの特徴があるメスリスを「花子」と名付けて、「花子」を中心にリスの生態を詳細に観察した写真と記録の展示でした。

リスの食べる物はクルミより栗が多く、栗は皮と渋をむいて食べ、桜の花やタンポポ、木の新芽なども食べ、公園の川は水飲み場。「花子」の子育ての様子は、おっぱいを飲ませている母子の姿、巣が小さくなったので大きい巣に子リスを咥えて移動する様子。また、子育てのメスリスは骨をよくかじり、かじり残した骨は、木の穴や割れ目に隠し翌日かじる。

リスの生態を根気よく観察し、撮り続けられた橘田さんにただただ感心するばかり。更には、リスの道路横断中の事故を防ぐため、歩道橋の下に木の橋の設置を仲間と市に要望され、リスの安全確保になっている。

「橘田さんが伝えたいこと」のように、茅野市が誇りうる自然遺産を後世に伝えていきたいものです。

支えあえる地域づくりのために

～まずは地域の声を聞いてみる～

私たちの最も身近な小地域(区・自治会)で「お互いに支えあえる地域づくり」を進めていただくために、平成18年の春、市内全ての行政区・自治会に福祉推進委員が誕生しました。しかし、7年が経過した今でも「福祉推進委員として何から始めたらいいかわからない」などの声が聞かれます。

そこで、今回、福祉推進委員がまず住民の声を聞き、そこから困りごとや要望などを拾い上げ、更に考え、話し合う場を作っていった取り組みについてご紹介します。

◆グリーンヒルズヴィレッジ自治会 ～グリーン倶楽部・グリーンサロン～

○グリーン倶楽部

《経 過》

グリーンヒルズヴィレッジでは70歳以上の高齢者が30余名に達し、平成18、19年に実施した区アンケートからも、日常生活の手助けを必要とする人が今後増える心配や、県外出身者の多い地区で近所付き合いが比較的浅く、お互いに声を掛け難いという事情があることがわかりました。その課題を解決するためには、認知された活動があれば利用しやすく暮らし易い地域になるのではとの考えで、グリーン倶楽部を立ち上げました。

活動の狙いはサポートを必要としている方へ、地域の仲間としてお手伝いの気持ちで『空いている時間』に、『出来るサポート』を提供して利用者のより良い生活を願うことです。

《主な活動内容》

体の不自由な方や独居高齢者などに対し、車がなくて困っている方の送迎、雪かき、剪定・芝刈りなどのサポートを行っています。

福祉推進委員と自治会長は、グリーン倶楽部の運営を支え、実際の活動は、グリーン倶楽部リーダーがコーディネートし、協力者と利用者とのつなぎ役を担っています。

現在、利用者6名、協力者13名であり、サポートの要請事項は上記の例に集中しています。



蕎麦打ち体験と新蕎麦を食べる会の様子
自治会主催で、G倶楽部・Gサロン共催で企画運営実施

○グリーンサロン



グリーンサロンの様子

《経 過》

住民がいつまでも元気で暮らすために、まずは住民が自由に参加出来る「居場所」があることが大事だと考え、明るく、楽しく、心豊かに暮らせるコミュニティの場を創ろうとグリーンサロンを立ち上げました。グリーン倶楽部が中心となり、平成22年にアンケートを実施し、要望の多い活動からスタートしました。

《主な活動内容》

月1回第1土曜日に茶話会を開催しています。
定期的あるいは随時、マージャン、マレットゴルフ、ボウリング、ウォーキング、卓球、鑑賞会(コンサート、映画、演劇、落語、美術展等)などを開催しています。

グリーンヒルズヴィレッジ自治会福祉推進委員より

上記両活動は、課題も多くありますが、今は地道で小規模な活動でも、近い将来重要性が増し、無くてはならない支え合い活動になると確信し、安心で楽しく暮らせるコミュニティづくりに取り組んでいます。

◆上古田区 ～ひまわりの会～

《経 過》

平成19年、区消防団との雑談の中で『災害時は助け合いが必要だね』という話になり、区長に聞いてみると区内の要援護者はどこに居るか分からないし、住民台帳もないことが分かりました。そこで、何か助け合える仕組みを作ろうと市社協に相談したところ『支えあいマップ』のことで知りました。区総会で『支えあいマップ』の必要性を話し、作成と全戸配布に同意していただき活動を始めました。このとき立ち上げた会が『ひまわりの会』です。

構成は、福祉推進委員を中心に、区長経験者、民生児童委員、ボランティアの会、高齢者クラブ、育成会、福祉に関心のある一般の方です。各種団体からの入会がありますが、当職での入会ではなく、あくまでも本人が納得した上での入会であり脱会も自由となっています。

『ひまわりの会』は、“アンテナを少し高くし区内の状況をキャッチ、そして話し合う”ことを基本にし、全員が、同じ気持ちで同じ方向を向きながら取り組んでいます。



《主な活動内容》

1. さくらまつり

区の事情で中止になった『さくらまつり』を復活してほしいという区民の声を受け『ひまわりの会』が区に金銭的な負担をかけない方法で、公民館、高齢者クラブ、子ども会育成会、一般有志などと協力し毎年開催しています(百円以上の会費、飲み物は各自持参)。

また、一昨年の大震災を教訓に『さくらまつり』を活用し、水道、ガス、電気を使わない『炊き出し』や自主防、消防団とも連携し消火器の使い方、防災資機材の展示や使い方の講習会もセットにして毎年実施しています。



さくらまつりの様子



さくらまつりの様子

2. 上古田塾

区内の資源を有効活用し、地域福祉の推進や『地域も子育てに一役』という豊平地区で共有する取組みの一環として今年度から計画します。

区内の専門職や趣味を持っている方が先生や指導役となり、子どもたちを中心に大人と一緒に勉強や体験をする企画です。

3. 散歩していますか

健康とちょっとした防犯のため、児童や生徒の下校時に合わせ、ルートを決め区民に散歩をしてもらう企画です。反射タスキやルートを記した通知を区内に全戸配布し、協力や実施を依頼しました。

4. その他

平成18年から区内の声や要望を踏まえ仕掛け作りをして来ています。

『「もっと使いやすい支えあいマップ」の更新・子ども夏休み公民館開放・雪かきサポート・講演会の開催・区内各種団体との懇談会の開催・ひまわり通信の発行』など各種約15事業を各種団体や区民と連携し展開中です。

上古田区福祉推進委員より

上古田区には福祉のことを考え話し合う場(受け皿)があるので、上手く活動ができているのだと実感しています。

次回も、具体的な地域の取り組みをご紹介します。

平成25年度 茅野市社会福祉協議会の事業と予算

今年度、茅野市社会福祉協議会では、社協情報紙「やらざあ」、ボランティア・市民活動センター情報紙「たまご」などで福祉の情報をお伝えしながら、市民一人ひとりを大切に総合的な地域福祉の推進を目指して下記の事業に取り組みます。



予算総額 358,357千円



福祉を支えるための 総合支援・応援体制づくりを推進します

社協体制の充実や、課題解決のために総合的に支援、応援できる体制づくりを行います。

(87,859千円)

- ・行政機関、福祉関係団体等との連携強化
 - ・社協発展強化計画の策定・推進
 - ・理事会・評議員会・経営委員会の開催
 - ・社協会費の加入促進
 - ・社会福祉大会の開催
 - ・社協の総合的な防災マニュアルの策定
 - ・成年後見制度に関する事業の研究
 - ・社協情報紙「やらざあ」の発行
 - ・社協のPRの充実
- など

ボランティア・市民活動（市民力）を 推進、支援していきます

子どもから大人まで福祉の心を育む機会づくりや、ボランティア活動者の応援・支援、情報発信などを行います。

(17,025千円)

- ・地域・学校などでの福祉講座・福祉教室の開催
 - ・ボランティア・市民活動の推進、支援、ネットワーク作り
 - ・地域のボランティアグループ活動や地区への支援や協働
 - ・ボランティア・市民団体等との連携、協働
 - ・災害救援ボランティアセンター機能の充実
 - ・いきいきサロン活動推進
 - ・ボランティア・市民活動センター情報紙「たまご」の発行
- など

“心のこもった”介護サービスを 提供します

高齢者や障害者の自立支援のために、より良いサービスが提供できるよう資質向上に努めていきます。

(170,722千円)

- ・居宅介護支援・介護予防支援事業
- ・訪問介護・介護予防訪問介護事業（2カ所）
- ・通所介護事業・介護予防通所介護事業（西部デイサービスセンター）

みなさんの地域づくりを応援します

子どもから高齢者まで全ての人が安心して暮らせる地域づくりの支援を行います。

(12,660千円)

- ・個別訪問支援・応援活動
 - ・地区社協・福祉推進委員の活動支援
 - ・買い物や見守りなどのニーズを把握し、支援できる体制づくりの推進
 - ・共同募金による各地区福祉団体への助成、高齢者・障害者・児童青少年・住民全般の福祉活動への助成
- など

一人ひとりを支え、応援します

住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう一人ひとりにあった支援を行います。

(39,385千円)

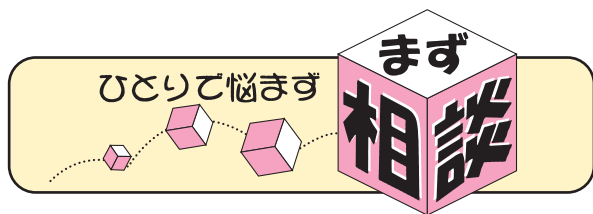
- ・外出時、1人では移動が困難な方等の移送サービス
 - ・「おたっしゃ弁当」配食サービス
 - ・独り暮らし安心コール（電話による定期的な安否確認）
 - ・社協会員同士の生活支援サービス（シャララ・ほっとサービス）
 - ・判断能力が不十分な方への福祉サービスの利用援助・金銭管理・書類預かり支援（日常生活自立支援事業）
 - ・低所得者世帯等への資金の貸付
 - ・総合相談（心配ごと相談、結婚相談、司法書士の法律相談、あなたと家族の悩み相談）
 - ・介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）
 - ・家庭介護者“いこいの集い”の開催
 - ・希望の旅（障害のある方の日帰りバス旅行）
- など

障害のある方の居場所づくり、 就労支援を応援します

障害のある方に、就労の機会、知識や能力向上のために必要な訓練、機能訓練、社会参加の場を提供していきます。

(30,706千円)

- ・あすなろセンター（就労継続支援B型）の運営
- ・ピアあすなろ（地域活動支援センター）の運営



人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください
(第3金曜日は年金相談もできます。)

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日

午後1時～午後4時

第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話／73-4431

あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方
ご相談ください

毎月第1月曜日 午後2時～午後4時

相談員：ボランティア

直通電話／82-0400

福祉やボランティアの相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話／73-4431 FAX／73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらがあ** Vol.97
2013年 5月号

2013年5月1日

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらがあ編集委員会

〒391-0002 茅野市塚原2-5-45

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

読者の声

・絵手紙を見て春を感じました。花の咲くのが待ち遠しいですね。 玉川 68歳 女性

・「やらざあ」のクイズは毎号楽しみです。1月は難しすぎてハガキを出せませんでした。

妻の後期高齢者医療保険の書類を北部デイに持って行った所、間違いを訂正してくれて受け取ってくれました。

湖東 75才 男性

・保育園の卒園式、子どもの成長に感動してウルウルして、子どもを預かっていただいた園、先生に感謝しています。

玉川 30代 女性

・“今月のつぶやき”はなるほどと思われる事が沢山有り、読んでいて心がほのぼのと感動いたしました。一足早く春の訪れを感じさせていただき、ありがとうございました。

湖東 60代 女性

・98才の母、認知症が進んでいますが、まだはっきりしているところもあり、会いに行くたびに「何でこんなに生きてるのか」と、早く死にたいと同じことを言います。そういう時はどのように対応したらよいでしょうか。

宮川 60代 女性

社協より

人の話を聴く事は大変難しい事ですね。

でも、まずは、否定せず、「そうなんだね」と受け止め、その後、「私たちは長生きしてくれてうれしい」など家族にとってあなたは大事ということ伝えてみることはいかがでしょうか。

あとは、お母さんが好きだった事でできる事を話題にして、一緒にやってみたり、昔話を聞いてみたりするのはいかがでしょうか。

今回は

川 柳



「居候 三杯目には そっと出し」という川柳があります
が、「そっと出し」を活かした新しい川柳を作ってください。

例えば…「金田和尚 飲み屋の請求 そっと出し」なんて。

あなたがそっと出すものは何ですか。

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送りください。応募者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

前回の答え

Q1 1 Q2 1 Q3 2

応募締め切り

5月末日

当選者

五味 弘昌さん(宮川) 矢島 ミツ子さん(玉川) 山岸 綾子さん(玉川)

募集

ボランティア募集

西部デイサービスセンターでは、利用者さんと一緒に編み物・縫い物・牛乳パックの椅子作りなどの作品作りに関わって頂ける方を募集しています。

お気軽にお問い合わせ下さい。

時間：午前10時頃から11時30分頃まで
お問い合わせ 西部デイサービスセンター
TEL 82-6161



社協情報紙 **やらがあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。